

第1回佐賀市公立保育施設のあり方検討委員会の会議結果について

令和8年5月29日に開催しました審議会の概要は下記のとおりです。

記

1 開催日時

令和8年5月29日（金）18時00分から19時10分まで

2 開催場所

佐賀市役所 大財別館4階 4-1、4-2会議室

3 出席者

（1）佐賀市公立保育施設のあり方検討委員会委員

- ・委員長 田口 香津子
- ・副委員長 福田 哲春
- ・委員 生三 俊朗
- ・委員 山田 操
- ・委員 吉村 純子
- ・委員 藤尾 早苗
- ・委員 河田 弥生
- ・委員 牛島 恭子
- ・委員 古賀 陽子
- ・委員 今泉 美佳
- ・委員 永田 千秋

（2）佐賀市公立保育施設のあり方検討委員会事務局

- ・こども未来部 大久保部長
- ・保育幼稚園課 馬郡課長、山外副課長、泉係長、末崎係長、湊上政策主査、
船津政策主査、田代主査、山崎主査、永富主査、北島主査

4 議題

佐賀市公立保育施設のあり方について（現状整理・課題の共有等）

5 会議の公開又は非公開の別 公開

6 傍聴者数

2名

7 議事

1. 開会

2. こども未来部長挨拶

3. 委員長互選 …委員長は田口委員に決定

4. 副委員長指名 …副委員長は福田委員に決定

5. 資料説明及び質疑 …発言要旨は別紙のとおり

6. 次回委員会開催日時の決定

7. 閉会

8 問い合わせ先

佐賀市 こども未来部 保育幼稚園課 幼保支援係

電話番号 0952-40-7290

別紙

(事務局)

第1回検討委員会資料に沿って、現状整理・課題の共有、公立保育施設の状況・市内保育施設の状況について説明

(委員長)

- ・ただいまの説明に対して、質問、感想等あるならお願いしたい。

(事務局)

- ・各園の施設長に、現状を補足してもらえればいいのかと思うがいかがか。

(委員長)

- ・では、各公立園の実態について、現場の声を聞かせていただきたい。

(委員)

- ・昔に比べると、子どもの人数はすごく減ったと実感している。
- ・園が行っている子育て支援事業については、一時預かり、こども誰でも通園制度を始めている。こども誰でも通園制度と一時預かりの利用者は、日によって若干人数は変わるが、希望される方が一定数おり、在園児だけでなくご利用いただいている。

(委員)

- ・先ほどの説明で、子どもたちの出生率が下がってきたという話があったが、ここ数年、見学も少なく、受入れの数も減り、今年度は一番少ない人数になっている。

(委員)

- ・老朽化は少し進んできていると感じる。扉が開かないなど出てきている。

(委員)

- ・5時以降まで残る子どもは多い。
- ・特別な支援を必要とされる子どもも在籍している。
- ・2階の支援センターでは、子育てサロンや保護者の相談を受け入れており、地域の子育て支援を担っている。
- ・公立園の役割について、地域の子育て支援や支援を要する子どもの家庭の支援など行政的な役割を担いながら、地域全体の保育を支えていく役割があると考えて

いる。公立園と私立園がそれぞれの役割を果たしながら、地域の子どもたちをどのように支えていくか、議論ができればと思っている。

(委員長)

- ・個別支援が必要な子どもの概要をいただいたが、ほかの園にもいると思うので、そこを追加で説明いただけるか。次回資料として提供されてもいいと思うが、口頭でお願いしたい。

(委員)

- ・各クラスに様々な特性を持つ子どもがおり、数に表せない。子どもの年齢が上るにつれて、保護者の考え方も変わる。
- ・配慮が必要な子どもには、個別計画を作成しているが、計画を立てて、振り返り、次にどうしていくかを話し合い、コーディネーターの先生も含め園全体で考えている。

(委員)

- ・医療的ケアを必要とする子どもについては、訪問看護の方や支援センターなど、支援をいただける方と一緒に会議をしていきながら、その子が園で普通に生活が送れるように取り組んでいる。
- ・子どもにとっての1番は保育園の中で友達と一緒に遊んだり、生活をする事。病気を抱えていても一緒にできる手だてについて、1園だけでは悩みどころも多いが、色々な専門機関と繋がることで保育ができています。
- ・このほか、市の巡回相談や療育支援センターの専門員に来ていただきながら、保護者も含め、保育所の中でどのように過ごすことが子どもの困り感を少しでも減らせるか、自分のやりたい活動ができるかというところに取り組んでいる。実数は次回示したい。

(委員)

- ・支援が必要な子どもについては、皆で同じ関わりを、という考えで、特別支援の専門員に巡回いただき、どう進めていくか話し合っている。

(委員長)

- ・ほかの委員の方々と、もう少し聞きたいというところはあるか。

(委員)

- ・今現在、通園・登園されている方が、保育園の周辺にどのくらいいるか分かるか。

例えば、園の周り500メートル位から登園している人数は分かるか。

(事務局)

- ・500メートルかどうかは調べていないが、校区内から登園している子どもが、全部合わせると大体50%で、個別だと、川原保育所は日新校区で21%、若葉保育所は高木瀬校区で58%、城東保育所は循誘校区で42%、本庄こども園は本庄校区で61%で、全体で51%。4月現在での数値である。

(委員)

- ・今回、公立保育施設のあり方検討委員会があるという話を聞いたときはびっくりした。理由は先ほど説明もいただいたので理解はしているが、現場ではどう思われているのか、今現在困り感があるのか、こんなふうになったら良いなどをお聞きしたい。

(委員)

- ・建物は老朽化しているが、コンクリートではあるので、年数は経っているものの木造よりは強いと思っている。

(委員)

- ・困っているところとは施設的なことなのか、職員のことなのか、どちらか。

(委員)

- ・どちらも。老朽化や、園児が減っていると出てきたので、そこに絡むところをイメージしている。

(委員)

- ・若葉保育所は、築年数はそんなに経っていないが、耐久年数はそんなに長くない。10数年経っているため、色々と修繕が必要で、市で相談しながらやっている。
- ・市の運営について、将来的に若葉保育所を存続するとなった時に、老朽していく前にここを変えていけるのかと思う。
- ・職員についても、このままでの運営はできないと各々思っていると感じている。自分はここの保育士になりたいと思い入ってきているのは皆同じなので、保育行政とは言っても、目の前にいる子どもたちが職員にとっては1番であると感じている。

(委員)

- ・老朽化は困り感としてある。扉が外れて修理ができていないところは、子どもたちにケガをさせないためにどうするか知恵を出し合っている。遊具なども、常に点検しながら自分たちでできる修繕をしている。
- ・支援の必要な子どもに対しては、もう少し受入れられたらと思う反面、今の支援をしながらこれ以上増やしていいのかと思う部分もある。
- ・総人数が減っているため、空いている部屋を活用し、図書コーナーを作ってみるなど、子どもたちが居心地のいい場所で遊んで過ごすことができるように一生懸命行っている。

(委員)

- ・本庄こども園について、管理が非常に大変で、自然豊かなところにあるため、ほぼ毎日、虫の対応をする必要はあるが、子ども達の安全面を確保することを大切にしている。
- ・昨年度からどの公立園でも職員同士で話をしているが、公立園としては、市全体の子どもの数や、地域の状況、将来の保育体制を踏まえて検討されるものだとして理解しており、職員も共通理解をしている。また、地域の子どもたちにとって、安定した保育環境が今後も確保されることが、最も重要だと考えている。今は園にいる子どもが安心して生活できるよう、日々の保育を大切にしていくことを職員同士で話している。

(副委員長)

- ・せっかく保護者代表の方いらっしゃるので、今過ごされて、どう感じているのか伺いしてもよろしいか。

(委員)

- ・子どもの数について、上の子も同じ園に通っていたが、その頃に比べ園児数は半分くらいになっている。ただ、子どもの数は少ないが、先生たちの手厚いフォローを感じており、大変ありがたいと思っている。

(委員)

- ・1番上の子の時は、100人近い在園児がいたが、その後コロナ禍になり、クラス単位での行事に変更され、それはそれで良かった。
- ・現在では、同じ行事を行うにも保育会費が足りず、保育会費を上げてでも子どもたちが楽しめるようにしようとして提案した結果、遠足のときにおやつを買ってこどもが喜んでいて。単に子どもの数が減ったからちょっと寂しいねという形に

ならないよう、色々と工夫をして子ども主体に考えてもらっている。

- ・人数が少ないのはちょっと寂しく、老朽化で少し大丈夫かなと思う施設にはなっているが、預ける身としては、先生方が近くにいて、いつでも相談できてとても良いと思うので、3人目も預かっていただいている。

(副委員長)

- ・気になった点で、入所希望がこの園だけしかないという子どもは、国の基準では待機児童にカウントされないため、園指定待機の子どものそれぞれの校区、近隣校区でどのぐらいの割合いるのかについて今後出していただけるか。
- ・また、預けられている子どもの数について、どの園も1番少ない4月の数を出されているので、ここ2、3年の年間でどれぐらい子どもが入られたのか見えてこない。

(委員長)

- ・では園指定待機児童数と年間の入所の資料について、次回、御提示いただくようお願いしたい。